

せい ろう まち

せ 聖籠町 議会だより

VOL.133

12月議会

令和3年
1月29日発行

新潟県聖籠町議会

新春のごあいさつ

町民の生活を守りぬく決意新たに (P.2)

決算意見書に対する町の回答 (P.8)

 町を守る消防団員の声 (P.10)

ズバリ直言！ 町政を問う (P.11)

だんご木に
願いを込めて
(亀代こども園)



新春を迎えて
議長 五十嵐 利栄

町民の生活を守りぬく決意新たに

町民の皆さま、明けましておめでとございます。
昨年早々から町民の生活を震撼させている、新型コロナウイルスの一日も早い終息を皆さまと共に祈りたいと思います。
聖籠町議会が町民の皆さまに約束していました「町民との意見交換会」の開催を年末直前まで模索していました。しかし、新型コロナウイルスの感染リスクを考え、開催を断念いたしました。理由の如何を問わず、開催できなかったことに對し、町民の皆さまに心からお詫び申し上げます。

共同で日本最大の出力となる30万KWのバイオマス発電所を建設する計画です。町にとっては、財政・雇用・経済分野などで大きな活性化が予測されます。議会としても、この計画を歓迎することを基本として活動していきたいと思っております。
今年も議会の役割である町政へのチェック機能を、十分に果たしていかなければならないと考えております。「町民の生活を守りぬく決意新たに」を念頭に置き、本年も町民の皆さまの健康と幸せを祈念致しますと共に、議会活動に對しまして、より一層のご理解・ご指導・ご協力を心からお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



2021
謹賀新年

令和2年12月議会定例会は、12月8日から14日までの7日間の会期で開かれました。

一般質問には議員13人中11人が登壇し、新型コロナウイルス感染症対策、バイオマス発電所と町の未来、教育・農業・職員の育成などについて質問、町執行部と活発な論戦が交わされました。

また、一般会計補正予算や条例の改正、発議3件、請願1件などを審議し、全議案を原案のとおり可決しました。

12月議会 定例会

条例 改正

聖籠町国民健康保険税条例の一部改正

内容

令和3年度分以降の国民健康保険税の負担水準に関して、意図せざる影響・不利益が生じないようにするため保険税の軽減判断基準を見直す。

主な質疑

質疑

答弁



中村
議員

条例の一部改正により、今までの減額対象者が対象から外れるということはないか。

国民健康保険税の軽減判定額は、今までと同様の条件となる。対象から外れることはない。



町民
課長

指定管理者の 指定

指定管理者の指定について（聖籠町観音の湯ざぶ〜ん館）

内容

ざぶ〜ん館の指定管理者を、令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5カ年指定したく、議会の議決を求めるもの。

主な質疑

質疑

答弁



高松
議員

町長は、厳しい経営が続くざぶ〜ん館を残り2年の任期中に根本的に見直すということで有識者会議に諮っている。その内容次第では、指定管理契約の一方的解除もありえるのか。

契約解除に関しては協議に基づいて行うとなっている。ざぶ〜ん館に関しては、そろそろ一定の方向性を出す必要があると考え諮問した。年明けの有識者会議の答申を待っている。



町長

一般会計 補正予算

公有車にドライブレコーダーを設置

質疑のあった 主な歳出・歳入

令和2年度一般会計補正予算は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4828万円を追加し、総額92億282万円と定める補正予算を全員賛成で可決しました。主な質疑は、交通安全指導員、町文化会館の自主事業、公有車のドライブレコーダー、寄付金などでした。

Q 交通安全指導員の補充は

中村恵美子議員 交通安全指導員謝礼が減額で1人欠員となっている。今後、補充する考えはあるか。

A 早い段階で補充を

生活環境課長 適任者を探している。早い段階で

Q 自主事業のキャンセル料は

宮沢光子議員 文化会館の自主事業で、プロダクションのキャンセル料は、発生しなかったのか。

補充を考えている。

A 発生しなかった

社会教育課長 文化会館

Q ドライブレコーダー

詳細は

長谷川六男議員 ドライブレコーダー45台分購入計画の詳細は。

A 計45台に設置予定

総務課長 軽自動車21台、普通車7台、普通車の大型9台。マイクロバス関係では、幼稚園、社会教育等で8台。合計45台に設置予定。集落の消防自動車、除雪車等には取り付けない。



交通安全講習(聖籠こども園)

交通安全指導員謝礼

歳出 22万円減額

Q 亀ども園の送迎
現地調査は

高松守雄議員 請願の調査で蓮瀉こども園を視察した際、亀代こども園と同様に、送迎時に車の通り抜けができない状況であった。他のこども園は、現地調査を行わなかったのか。
今一度調査した上で、蓮瀉こども園にも通り抜けができる道路を作れば、

不便はなくなるのではないか。

A 将来的には
検討が必要

町長 蓮瀉こども園については、役場内部で将来的には検討が必要と考えている。安全な登降園の体制は必要と思っっている。調査しても、すぐにできるところと、ある程度時間をかけなければならぬところがある。

Q 寄付金300万円の
現状は

田中智之議員 10月27日サトウ食品株式会社より感染予防対策ということとで300万円を寄付していただいた。
寄付金の現状はどうか。使ってしまったのか。使ったとしたら何に使ったのか。これから、使ったとしたらどのような使い方をするのか。

A 予算上で見える
形にしたい

町長 いただいた300万円は、何らかの形で充当先が分かるようにしないと、サトウ食品株式会社の意向が反映されないと思う。
予算上で見える形にしたい。

Q 特別定額給付金
受けていない理由は

中村恵美子議員 特別定額給付金を受けていない人は17人いるが、理由は何か。
最初から受け取らない人や連絡がつかない人は入院しているなど、確認しているのか。

A 理由は連絡が取れない
申請しないなど

総合政策課長 特別定額給付金は、基本的に自主申告となる。防災行政無線やチラシで「申請漏れないように」と、声を

かけてきた。
施設入所者の後見人の関係で、連絡が取れない人や申請しない人がいた。結果として17人が残った。



亀代こども園

調査測量業務委託料

歳出

180万円



議員表決結果報告

令和2年第4回聖籠町議会臨時会

議員個々の賛否：賛成=○ 反対=× 欠席=欠 ※議長は賛否同数時以外、採決に参加できません

提出者	議案等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	採決結果
		高崎美由貴	伊藤千穂	手嶋満	宮沢さやか	小川勝也	青木順	田中智之	高松守雄	宮沢光子	中村恵美子		須貝龍夫	長谷川六男	五十嵐利栄	
町長	聖籠町特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	聖籠町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	○	—	可決
	令和2年度聖籠町一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	令和2年度聖籠町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	令和2年度聖籠町介護保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	令和2年度聖籠町下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	令和2年度聖籠町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
議員	聖籠町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決	

令和2年第4回聖籠町議会定例会

議員個々の賛否：賛成=○ 反対=× 欠席=欠 ※議長は賛否同数時以外、採決に参加できません

町長	聖籠町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	聖籠町公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	聖籠町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めるについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	同意
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	適任
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	適任
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	適任
	町道の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	指定管理者の指定について [聖籠町観音の湯ざぶーん館]	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	指定管理者の指定について [聖籠町総合体育館（トレーニングルーム）]	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	令和2年度聖籠町一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	令和2年度聖籠町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	令和2年度聖籠町介護保険特別会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	令和2年度聖籠町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
	議員	令和2年度聖籠町下水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
令和2年度聖籠町水道事業会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決	
令和2年度聖籠町一般会計補正予算（第9号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
聖籠町議会基本条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
聖籠町議会委員会条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決
請願	新型コロナウイルス感染拡大における住民の命と人権を守るための決議	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決	
	拉致被害者全員の即時帰国を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	可決	
請願	蓮濁こども園までの歩道及び横断歩道整備について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	—	採択	

みなさんの声

請願1件陳情1件を審査

全員賛成で採択

◎蓮潟こども園までの歩道及び横断歩道整備について

【提出者】 蓮潟区長 神田勉

【紹介議員】 小川勝也・手嶋満

この請願は「園児および保護者並びに地域住民の交通災害防止対策のため、蓮潟公会堂前から蓮潟こども園までの間に、歩道および横断歩道の整備を求める」ものです。厚生産業常任委員会での審査を経て本会議での審議の結果、全員賛成で採択しました。



継続審査

◎町立こども園・小中学校への常勤看護師配置並びに継続的に医療的ケアが行えるサポート体制の構築を求める陳情書

【提出者】

小島正敏
小島千夏

固定資産評価審査委員会委員

本間敬さん(再任)



令和2年12月31日をもって任期満了となる同委員の本間敬さん(汐美台)が引き続き選任されました。

第4回臨時会

11月30日

11月30日、臨時会が開催されました。

令和2年の人事院勧告による、常勤の特別職と職員の間の手当の引き下げに関する条例の改正、補正予算を審議し、原案のとおり可決しました。また全議員の賛同を受け、議会議員の期末手当も12月から同様に引き下げとなります。

人権擁護委員

佐久間孝一さん(新任)



人権擁護委員の斎藤豊さんが令和2年12月31日で任期満了になることから、後任に佐久間孝一さん(蓮潟)が推薦されました。全員賛成で適任と認めました。

人権擁護委員

佐久間千都さん(再任)



人権擁護委員の佐久間千都さん(蓮潟)が令和3年3月31日で任期満了になることから、引き続き推薦されました。全員賛成で適任と認めました。

人権擁護委員

高橋たか子さん(再任)



人権擁護委員の高橋たか子さん(網代浜)が令和3年3月31日で任期満了になることから、引き続き推薦されました。全員賛成で適任と認めました。

令和元年度 決算審査特別委員会の 意見書に対する 町からの回答

前号の議会だより（132号）に掲載した令和元年度決算についての委員会からの意見書に対し、10月22日付けで町から回答が出ましたのでその一部をお知らせします。

一般会計

学校給食

今後も育英資金や学校給食費の収入未済額解消に向け、さらなる努力を。

回答 滞納が生じた際、児童手当を充てる申出制度促進の強化策、経済的困窮保護者に対する就学援助制度の活用啓発により、収入未済額は前年度決算対比で約5割の削減効果を得ることとなった。今後もさらに粘り強く努める。

医師住宅

周辺の土地を有効活用する指針が見えない。売却を含め具体的な方策を示してほしい。

回答 若干の経年劣化等はあるものの、住居としての機能は現状において十分に果たすことができると判断されている。さらなる事業展開が可能か、さまざまな視点から検討している。

ふるさと納税

他自治体と比較し、発送業務に対する経費率が高い。発送業務の効率化等の改善点を洗い出し、経費の削減に努めてほしい。

回答 令和2年10月から立ち上げるワーキンググループで、さまざまな角度から効果的な対策の実現に向けて検討を進める。

ざぶ〜ん館

利用者の増加に向け、営業時間の見直しを行うなど、株式会社聖籠の杜

と協議を重ねてもらいたい。

回答 指定管理業者と営業時間の見直しを検討するなど、引き続き協議を重ねていく。

海のにぎわい館

通年の業務実態が見えてこない。町民へのPR、利用促進を図り、委託料に見合った施設運営になるよう検討してほしい。

回答 気候等の関係から4月から12月までに行う事業が多い。しかし、近年は冬季間の利用促進および町民へのPRを図る



雪かきの疲れをざぶ〜んで癒やそう

町営住宅東山団地

今後とも入居条件を含めた改善を図り、空き部屋解消に努めてもらいたい。

回答 今後とも入居希望者のニーズを把握しながら、居住環境の改善を図り、空き部屋解消に努める。

中央防災倉庫

非常時に備え、備蓄品の管理徹底を継続して行い、新型コロナウイルス感染症予防のための充実した備蓄品を検討してもらいたい。

回答 災害用備蓄品は、人口の1割が被災することを想定し、平成27年より備蓄を進めてきた。

今後は、新潟県が推奨する被災想定12・5%を

基に、備蓄計画を改定し、
飲料品の備蓄を拡充し
たいと考えている。また、
感染症対策を踏まえた避
難所運営が求められる。
そのため、マスクや消毒
液などの備蓄に加え、町
民等が安心して避難でき
るよう、避難者同士を仕
切る避難所用間仕切りな
ど、感染対策を踏まえた
物資の備蓄を計画的に進
める。



公共施設

毎年多額の修繕費、保
守点検費が支出されてい
る。

これからの存続を含め、
利用の在り方と今後の維
持管理の方向性を明確に
してほしい。

回答 個別施設ごとの更
新・統廃合・長寿命化等
の具体的な実施計画を策
定するための計画策定に
係る方向性を「第5次聖
籠町総合計画」の中で位
置付けていく。

その後、庁内ワークシ
ンググループを設置し、各
施設の老朽化等への対応
の検討を進めていく。

特別会計



国民健康保険

〈事業勘定〉

一般被保険者医療給付
費は年々増加傾向にある。
削減のためにも、各集落
において健康体操などの
充実に努めてほしい。

回答 疾病別医療費の上
位を占めるがんや生活習
慣病への対策として、が
んに対しては、早期発見
早期治療を図るため人間
ドッグや特定健康診査の

受診勧奨を行っており、
生活習慣病に対しては、
糖尿病重症化予防事業や
運動教室などを行っている。
今後さらなる充実
強化を図っていく。

〈施設勘定〉

地域医療サービスのさ
らなる充実を図り、身近
な診療所としての運営を
望む。

回答 電子カルテの導入
や医療機器の購入等によ
り効率的な運営と医療
サービスの向上に努めて
いる。今後も、町民に身



健康体操で若さを保とう！

近な一次医療機関として
適切なプライマリ・ケア
を提供しつつ、他の医療
機関と連携を図りながら
地域医療の充実に努める。



介護保険

介護予防・介護度の重
度化防止に向けた取り組み
をさらに充実させ、保
険料増加の抑止に努めて
ほしい。

回答 介護予防運動事業
として、保健センターに
通って行う通所型の運動
事業や、老人クラブ、集
落等に運動指導士が出向
く、出向型の運動事業を
行っている。これらによ
り高齢者のフレイル予防
に努めている。

今後も取り組みを継続
し、併せて生活支援体制
整備事業による地域の茶
の間づくりへの継続支援
を行いながら高齢者の社
会参加の推進を図ること
で、介護費用の抑制に取
り組んでいく。

事業会計



下水道・水道事業

〈下水道事業〉

未接続世帯を引き続き
訪問し、接続率向上につ
なげてほしい。

回答 今後も接続率の低
い地区から訪問し、アン
ケート調査等を実施する
ことにより啓発活動を推
進し、接続率の向上に努
める。

〈水道事業〉

全世帯加入に向け、粘
り強く努力してもらいた
い。

回答 未加入世帯には令
和元年度に実施した訪問
やアンケート調査結果を
参考に、取り組み方策の
検討を行うとともに広報
を通じ加入促進に努めて
いく。

町での新型コロナウイルス感染症の発生

新たな循環バスの運行状況

バイオマス発電の事業化へ向けて

行政報告



にしわき 西脇町長

町で新型コロナウイルス発生

11月上旬、町デイサービスセンターにおいて、職員2人、利用者1人および職員の家族1人の感染者が発生しました。ご利用いただいている皆さま、町民の皆さまに心配、ご迷惑をおかけしましたことに改めてお詫び申し上げます。業務を委託している社会福祉法人聖籠福祉会には、より一層の感染拡大防止を講じた上で事業運営を行っていただくよう要請しました。

また、新型コロナウイルス感染症は誰もが感染

新たな体制のバス運行

一人一人が人権に配慮した冷静な行動を心がけるとともに、感染拡大防止・感染予防のため、「新しい生活様式」の実践、「3つの密の回避」の徹底をお願いします。

運行開始から1カ月が経過した10月末時点では、3路線合計で延べ4264人にご利用いただいております。変更前の9月から1302人の増、前年10月と比べ、1327人の増、率にすると約45%の増となっています。また、12月からは一部路線変更

し、町診療所へ直接乗り入れできる便を増便致しました。今後も費用対効果を考慮しつつも利用実態の把握に努め、より良い公共交通体系の構築に努めたいと考えています。

バイオマス発電所事業

エネオス株式会社が所有する新潟サンライズゴルフコースの一部を活用した、大型バイオマス発電所に関する同社とイレックス株式会社との共同事業化検討の合意について、報道発表がありました。現時点では、事業化の検討を行うための環境アセスメントを開始するとのことです。

また、エグイスセントラルサービス・ジャパン株式会社が、旧理研ビルミン建設予定地に、バイオマス発電所の計画をしています。

小・中学校教室へ加湿器

冬季間における感染症対策のため、小・中学校の普通教室および特別支援学級への加湿器の設置を行うことになりました。

①集落の安心・安全を、身をていして守れること。



②防災に強い町。子どもたちが大きくなったとき、安心して暮らせる町であってほしい。

たかはし じゅういち 高橋 重一さん(副班長)

①火災の際、いち早く火事場に到着し消防活動に加われることに誇りを感じている。



②子どもたちが安心して外で遊べる、住みやすい町にしてみたい。

たきざわ たくみ 瀧澤 工さん(班長)

①消防団に入らなかつたら知り合えなかつた地元の先輩と、一緒に活動できること。



②小・中の同級生とキャンプによく行く。聖籠町にもキャンプ場があればもっと人が集まると思う。

さとう たつや 佐藤 達也さん

①火災などのときに人助けができることに、やりがいを感じている。



②地域の人たちと交流ができる場や機会を、もっとたくさんつくってほしい。

やまざき こうた 山崎 滉太さん



聖籠町消防団 第二分団第六班 (二本松)の声

班長・副班長と期待の若手団員の声を紹介します。

質問項目

- ①消防団員としてのやりがいは？
- ②聖籠町に期待することは？

長谷川六男議員の
視点

感染拡大



感染者が拡大したら どう取り組む

町長 迅速かつ的確な対応に努める

問 終息が見えてこない新型コロナウイルス。本町では4月に1人の感染者が出てから、その後感染者が出ていなかったが、11月に入り感染者が4人出た。町が業務委託している施設で出たことは重く受け止めるべきではないか。気候が寒くなるにつれ、インフルエンザとの同時流行が心配されている。今後老人施設やクラブ活動、集会などでクラスターが発生し、感染者が拡大したら町はどのように感染症対策に取り組むのか。

町長 町が設置して、聖籠福祉会に業務委託しているデイサービスセンターで感染者が出たということは大変遺憾であり、町民の皆さまにはご心配をおかけし、深くお詫び申し上げます。町内においてクラスターなどの感染が発生した場合には、感染症対策において専門知識を有する新発田保健所の指導を受けながら、町としての対応が求められ



熊よ 今どこにいる

ることについて迅速かつ的確な対応に努める。

教育長 クラブ活動で発生したら、マニュアルに基づき対応を図っていく。

子どもの安全対策は大丈夫か

問 今年は例年になく熊の出没が多く、毎日のように新聞で出没情報が掲載されている。聖籠地区の森林に冬眠したのではないかと危惧もしている。

町長 わなは所有しておらず、仕掛けてない。

問 登下校の安全のために子どもたちに熊鈴支給の考えはあるか。

教育長 熊鈴の貸与等の必要性については、今年

ところだが、今でも猟友会などで熊を探しているのか。

町長 有害鳥獣駆除期間と狩猟期間併せて猟友会で巡視をしている。

問 熊を捕獲するためのわなを仕掛けているのか。

町長 わなは所有しておらず、仕掛けてない。

問 熊を捕獲するためのわなを仕掛けているのか。

町長 わなは所有しておらず、仕掛けてない。

度の熊出没の傾向を見ながら検討していく。

問 山倉小学校と亀代小学校に残されている浄化槽は、子どもたちの安全対策のために早急に撤去すべきと思うが考えは。

教育長 施設の状況を見極めつつ、財政状況を勘案しながら予算要望する。

交差点の一時停止防止の強化を

問 交通安全教室や町広報などで、交差点の一時停止防止の強化と対策を。

町長 かもしれない運転や、防衛運転で防げる事故もある。自分を守るための運転の励行を引き続き呼びかけていく。

その他質問

問 集落座談会開催の考えはあるか。

町長 同じ地域を対象に毎月のように行うことは無理である。

行政

宮沢光子議員の
視点中止になった事業費の
使い道は

町長 コロナ対策事業に振り替えた

問 令和2年度は、4月当初から新型コロナウイルス感染症の影響で、町の事業は中止や延期になっている。予算上相当の不用額が出ていると思うが、中止になった事業費の使い道はどつなつたか。

町長 今議会での一般会計予算で、事業の中止や延期に伴う予算として、約5500万円の減額を計上した。この減額した事業費は、地方創生臨時交付金や国庫補助金等と同じ財源にして、子育て世代や高齢者、町民の生活支援、町内の飲食店や事業所への経済支援、国の感染防止関連のGIGAスクール構想や小学校のトイレ改修等のコロナ対策事業に振り替えた。

問 令和3年度の予算を考える時期になった。令和2年度で中止等にした事業をどう捉えて予算付けをするか。町民の暮らしの向上や町民サービスのため、事業の継続が必要と思うものは多い。しかし、中には漫然

とした例年通りの事業もあるのではないかと。精査が必要と思うがどうか。

町長 令和2年度で中止した事業については、令和3年度においても例年通りの予算計上を基本にする。例年通りの事業であっても、担当課で細部の見直し等を行っていく。

問 令和3年度に向けて、ウィズコロナの観点から政策をどう考えているか。

町長 国が示す新しい生活様式の下、来年度に

いても、コロナ禍の状況を見て、必要な支援策と感染拡大防止策を行う。今後の政策として、総合的な経済、定住、移住等に対応できる住宅関連の支援策を考えている。

どつなる国の指針

問 2023年度を目標にして、「放課後児童クラブ」と「放課後自学支援ルーム」を一体化する形にと国の指針が出てい

る。当町だけでなく他の自治体も同様になるのか。

教育長 国の方向性はあるが、他の自治体では実際は難しいと思う。しかし当町では、2つの体制は整っているため、一体化できる可能性は高い。

問 放課後自学支援ルームではタブレットの使用をどうしているのか。

教育長 タブレットの使用については、決まりを守れない事例があり、現時点では規制している。教育委員会としては、優れた学習ソフトを導入しているため、規制を早く解除して自学のために活用してもらいたい。



受講者の密を防いで開催 図書館の「歴史講座」

公共

小川勝也議員の
視点



町の交通施策等の 問題点は

町長 状況を見ながら見直し



ダイヤ改正で利便性向上の循環バス

問 循環バスのダイヤにおいて、特に利用者の少ない路線や時間帯は。

町長 10月1日～10月末まで4264人が利用。その中でさくら号が180人と少なく、午後2時～3時頃が特に少ない。

問 役場前の乗り換えスペースにおいて、冬季間の対応は万全か。

町長 バス時間に合わせ再除雪予定。バス停留根設置は、状況を見て検討したい。

問 循環バスの路線変更によって、高齢者タクシー券の利用状況に変動は。

町長 9月～10月にかけて伸び率約8%。大きな変化はないと考えている。

問 朝夕の小学生のスクールバス運行に問題は発生していないか。

教育長 該当集落の児童79人のうち75人が利用。特に問題なく運行できている。

.....
コロナ禍での工事等の入札状況は

問 入札業者の選定は、どのような基準で行っているか。

町長 業者選定においては、建設工事等指名業者選定委員会、建設工事指名業者選定要綱に基づき選定。業者選定の際は、区域的要素を考慮する。

問 入札金額が最低制限価格と一致した案件は。

町長 現時点で、舗装工事1件、建設コンサルタント業務等2件。くじ引きで落札者を決定した。

問 新型コロナウイルス関連で、工事が増加し、工事施工および備品発注等で問題、課題はなかったか。

町長 職員の努力によって問題、課題もなく、ほぼ計画通りに事業を執行している。

.....
町の課題の現状は

問 ふるさと納税の目標1億円達成の予定はいつ

か。

町長 10月から東港の食品企業から参加いただき、1カ月2千万円強の寄付申し込みがあった。達成に向け鋭意努力する。

問 ざぶざぶん館、地場物産館の今後の発展に向けて、計画があるか。

町長 行財政改革有識者会議に議論いただき、1月末を目途に意見をもらい、町としての考え方、方向性をまとめる。

問 地区計画をはじめとする人口増対策の状況は。

町長 審議中の第5次聖籠町総合計画において、町の方向性を位置付ける。地区計画の基本的な内容は、6月議会で答弁したとおり。

問 公共施設の改修計画は今後どのように進めていくか。

町長 6月に議会議決予定の第5次聖籠町総合計画の中で、将来の必要性も含め、各施設の老朽化等への対応も進めていく。

好機到来

高松守雄議員の
視点



東港に好機到来

町長 町は大いに期待

東港に世界最大級のバイオマス発電所計画と新聞発表があった。イーレックス株式会社とゴルフ場の所有者のエネオス株式会社と共同による事業化。

問 町に関係者から事前には話があったのか。

町長 イーレックス株式会社からは特に連絡はなかった。

問 町長は企業誘致のアクションはしたのか。

町長 エネオス株式会社とは暫定利用地の活用について、毎年意見交換をしている。

問 町はこの企業進出を歓迎、期待しているのか。

町長 本来の土地活用が現実の前に進んでいる。町でも全面的に支援し大いに期待している。

問 ゴルフ場の残地の活用について話はなかったのか。

町長 ゴルフ場の残地は、企業側の今後の判断。

問 バイオマス発電の進出で、もう1カ所の新潟東港バイオマス発電所に



期待される東港新事業

ついて、町は調査・検討の報告を聞いているか。

町長 現在、排水管や侵入道路の検討などが終了し、今後は発電所本体の主要調整し実施していくとのことだ。建設主体、現地着手時期までは明言はないが計画は着実に進んでいるものと考えている。

非常勤の特別職務員の選挙運動

問 町でも非常勤で身分

が特別職の各種委員がいる。選挙運動について、「自分はどこまで選挙運動に関わっていいの」と戸惑われている方がいると聞く。そのような事態を解決するために、町も各種委員を選任する際は具体的な事例を出し、選挙運動と地位利用について分かりやすく指導することですっかりと周知を図っていくべきと考えがどうか。

町長 任命権者ではある

が、選任時に公職選挙法についての指導は権限外であり、今後も指導を行うことは考えていない。

東山団地の将来展望は

問 東山団地の外見は良いが、中に入ると設備が老朽化している。何よりも4階5階の階段での移動等の問題もあり、現在入居率は75%と空室が目立つ。

耐震基準をクリアし、外壁も修理済み、場所も恵まれ、広い駐車場も完備。しかし放置すれば急速に痛む。東山団地は購入時の借り入れも返済し基金は約2億2千万円ある。マンションにリノベーションして都会からの移住促進施設としてはどうか。

町長 今後、総合計画を踏まえるが、現実的には構造上無理なところもある。具体的な検討はこれから少し時間を要する。

端末活用

宮沢さやか議員の
視点



紙媒体と端末の 使い分けを

教育長 端末はあくまでも
学びのツール

問 タブレットを用いた授業が開始されてから約3カ月。教育現場からの声、児童・生徒の反応は。また効果、課題はあるか。

教育長 全ての学校で意欲的に端末を活用し学習に取り組んでおり、学校現場は好意的に受け止め、活用していると認識。決まりやマナーの順守の点では問題点等も散見される。継続的な指導と防御対策の必要がある。

問 Wi-Fi環境がない家庭に対し、家庭学習のための通信環境整備についてどう考えているか。

教育長 家庭環境により教育の提供に差を生じさせてはならない。そのためLTEモデルとし、通信費も全額町負担とした。

問 ICT教育が推進される中、これからの教育にはそれぞれメリットがある紙媒体、デジタル端末の使い分けが大切だ。今後の方向性は。

教育長 学校教育で文字を書くことは必要な教育内容。端末はあくまでも

学びのツール。書く力の伸長のため、端末とノートを併用している。大切なのは授業の狙いに応じ使い分けていくことだ。

問 令和3年4月、文科省が大規模な実証事業を開始予定だ。デジタル教科書には便利な機能があるが、実際使用しなれば良し悪しはわからない。町も提供を受ける予定か。

教育長 検討中。制度を確認し、対応したい。



端末活用と同時に情報を十分に使いこなす能力の育成も大切です。

……
本町でもキャッシュレス決済導入を
……

問 本町でもキャッシュレス決済を導入しては。

町長 費用対効果を検証し、導入の可能性を検討。

問 試算はしたのか。

総合政策課長 現時点ではスマホ決済が一番安く、七、八十万円である。

問 24時間365日自宅に納付できる点は、納税者にとってのメリットだ。

新しい生活様式に対応した町民サービスとして導入する意義もあるのでは。

町長 各市町村で導入が進んでいる。前向きに内部検討をしていきたい。

問 SNS活用におけるワーキングの進捗状況は。

町長 ワーキングを立ち上げ、3回開催。来年度からの本格運用に向け、体制を整えていきたい。

問 SNSの活用は町民が地元に着用を持ってもらう機会にもなる。まちづくり創生大学や学生の参画も良い。町民と共に作ることも検討しては。

町長 SNSにはいろいろな活用方法がある。ワーキングでは町民参画も含め、検討してほしい。

10xモ
※LTEモデルとは
Wi-Fiモデルに携帯電話の電波を受信できるアンテナを付けたもの。

農業政策

高崎美由貴議員の
視点



大豆栽培振興に 町独自の支援を

町長 広い意味での園芸振興 として検討

問 今後基盤整備が行われた後も、大豆であれば効果的に大規模農地への作付けが可能。大豆栽培振興のために町独自の支援をする考えはないか。

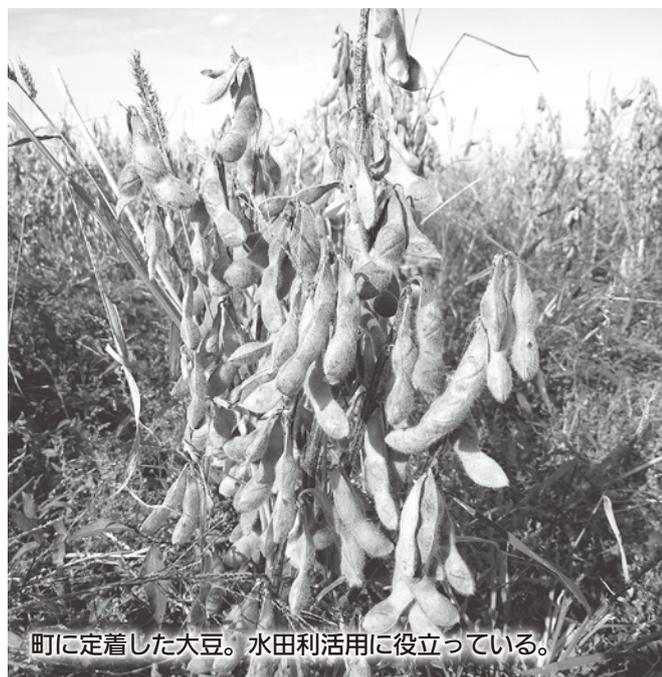
町長 これまで培ってきた経営基盤や機械設備の整備状況も踏まえ、広い意味での園芸振興としての支援が必要なのか、生産者等の意見も聞いた上で検討したい。

問 遊休農地面積の割合が1%以下で、担い手に対する農地の集積率が70%以上ある市町村では、最適化推進委員は不要とされている。町の目標に達したら不要では。

農業委員会事務局長 不要ではなく、委嘱しないことができるということ。聖籠町は推進委員を置かないことができるが官報にも載っている。しかし、最適化は道半ばと考える。

問 推進委員を置かないということを経営的に検討できないか。

農業委員会事務局長 現在の委員の任期が令和4



町に定着した大豆。水田利活用に役立っている。

年3月末までとなっている。その時点での最適化の推進状況で判断したい。

問 高収益作物は人手が掛かるといふことだ。町内7カ所の基盤整備が終わるであろう20年後には、今よりもっと人手不足になる。その上で園芸を増やせというのは無理があるが、何か方策はあるのか。

町長 基盤整備事業は県内各地で要望が出ている。その中でいかに採択してもらうかが重要。町の特

色を出して積極的に県の採択要件に乗る必要性もある。

問 ふるさと納税返礼品の米が今年は半分から4分の1に減っている。これは10月から始まったパックご飯の影響を受けているのではないか。

町長 パックご飯の影響が出ていのかどうかはまだわからない。

問 町の返礼品のパックご飯に魚沼産米、宮城県産米が使われているがどうか。

町長 町内の工場で生産されているので問題ない。

問 自治体の取り組みに共感することや応援する気持ちで商品や自治体を選ばれている。やみくもに商品を増やし、1億円突破が目的になっていないか。

町長 聖籠町を応援していただくという意味では、東港企業も町の大事な企業。その企業に対しての想いという寄付であれば、ふるさと納税の理念とかけ離れてはいない。

働き方

手嶋 満議員の
視点



町職員の あるべき姿とは

町長

志した原点を忘れず 自覚と責任を



職員を志した原点を忘れずに

問 市町村を取り巻く社会経済情勢は、少子高齢化、グローバル化、環境・エネルギー問題の深刻化、働き方改革など大きく変化している。町民の行政に対するニーズも高度化・多様化している。それらに的確に対応すること、さらに地方分権改革の進展に伴い、市町村の自己決定権と自己責任が拡大する中、自主性・自律性を持つてその責任を果たすことが重要である。町

長が考える町職員に求められる資質とは。
町長 町職員を志した原点を忘れず、まちづくりについて、町の将来・明るい未来に責任を持ち、自分の意見を自分の言葉で言え、さらに夢を語るができることが必要と考える。
問 本町職員の人材育成はどのようなものか。
町長 仕事の中でさまざまな気付きを得て、それを実践することで成長し

ていく。平成28年度より人事評価制度を実施し、能力向上に取り組んでいる。
問 仕事上のストレスの状況把握、ハラスメントの情報共有はできているか。
町長 平成28年4月より聖籠町職員ストレスチェック制度実施規程を制定し、状況把握している。ハラスメントに関しては、庁内情報共有システムによりハラスメント防止の基本方針を提示し、相談窓口設置などについても周知している。

財政運営アドバイザー、新潟財務事務所長による職員向けの講演会を開催。国家予算編成をテーマに貴重な話を聞くことで職員の資質向上に貢献している。
問 地域活性化のため研修は行っているか。また具体的な成果は。
町長 友好交流都市協定を結んでいる三重県川越町と職員交流を実施。研修を通じて地域活性化に対する意識や取組姿勢の向上につながっている。
問 町広報紙、循環バスへの町内事業所の広告宣伝掲載はできないか。
町長 新潟東港聖籠地区立地企業連絡協議会では、会員企業94社の企業紹介冊子を製作中である。広告掲載は循環バスが考えられ新潟交通観光バス株式会社と協議したい。

地域活性化に町と職員の役割は

問 新潟財務事務所との連携協定締結の経緯は。
町長 財務省の財政教育プログラムを、未来を担う町の子どもたちの社会勉強に活用するため締結した。
問 連携協定の具体的な内容とその効果は。
町長 町民向け講座開催、

伊藤千穂議員の
視点

デ
ジ
タ
ル



今後進むデジタル化 町の対応は

町長 検討しているが
遅れている

問 現在のマイナンバーカードの普及率は、また、普及率向上に向け、どのような取り組みをしているか。

町長 11月現在で申請件数2016枚、申請率14.2%。今年の4月以降、毎月増加し、8月から10月まで毎月100枚を超える交付実績になっている。

来庁された方々に、窓口で積極的な取得を勧奨している。

問 マイナンバーカードを所有することで、どのような手続きが可能となるか。

町長 転入手続きの際に転出証明書の添付が不要。e-Taxでの電子申告、マイナンバーカードで子どもの予防接種および健診結果の閲覧が可能。今後、学校健診や成人の総合健診・職場健診の結果を閲覧できるようにする。

問 税金の収納方法や、各種料金の支払いにキャッシュレス決済を導入する考えは。

町長 検討しているが、遅れていることは事実。導入手数料との兼ね合いも考えていく。

問 国は、各種行政手続きの負担軽減や、オンライン処理などの事務効率化につなげるため、はこの使用が不要になる方針を決めた。今後、町ではどのような手続きに反映されていくか。

町長 各制度の所管省庁から具体的な通知などはない。個々の行政手続きで、どのように反映されていくか、現段階では見えてきていない。

問 防災行政無線が令和3年度からデジタル化される。現在の屋外スピーカーによる情報伝達は、全町民に伝達することは難しい。今後整備されるデジタル化でどれだけ解消が見込めるか。

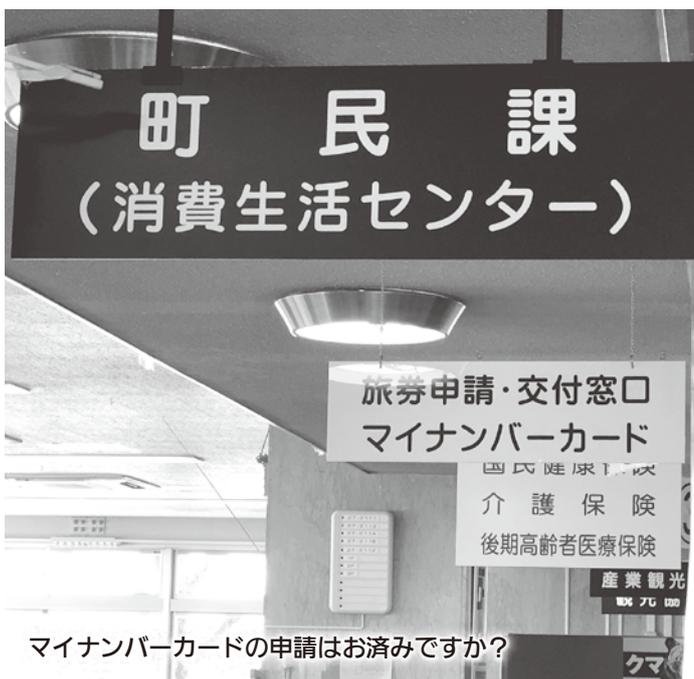
町長 デジタル化に係る工事は令和3年度から令和5年度までの3カ年で実施を予定。設計業務では、音達試験を実施しており、聞こえない・聞き

取りにくいといったことは解消されると考える。しかし、悪天候の場合にも明瞭に聞こえるものではない。

問 屋外スピーカーによる防災行政無線だけでなく、他の情報伝達システムとの併用は考えているか。

町長 町のホームページやSNS、電話録音配信、登録制メール等の媒体と連携し、町の情報発信方法を多重化する検討を進

めている。
生活環境課長 消防本部と専用配線ではないで、そちらが流れるようにしたいと考えている。



マイナンバーカードの申請はお済みですか？

中村恵美子議員の
視点

ハッピーチケット



ハッピーチケット 今後の見込みは

町長 50%程度の見込み

問 ハッピーチケットの利用率は。

令和3年1月31日までの利用見込みは。また、業者側からのチケットに対する声は。

町長 11月30日現在の換金率でハッピーチケット全体で31・3%、約1100万円。うち飲食業は37・4%、約560万円。美容業では30・5%、約460万円。旅客業では15・3%、約80万円。また、ざぶくん館利用券は26・5%、約240万円となっている。

利用見込みは、ハッピーチケットで50%程度、ざぶくん館利用券で40%程度と推測できるかもしれない。

ハッピーチケットへの意見で加盟店からは、新規客の増加がある、効果があったと思う、飲食店からは良かったとの声を聞く。美容業からは、新規客が増えた、またやってほしいという意見があった。ざぶくん館利用券では、利用券の効果もあり、コロナ禍の中でも例年の9割ぐらいの入館者で推移している。

問 国や県に対して、施設や学校等で感染すると広がりやすいところでの職員へのPCR検査を定期的に行えるよう、何度でも要望すべきでないか。

町長 11月30日現在の換金率でハッピーチケット全体で31・3%、約1100万円。うち飲食業は37・4%、約560万円。美容業では30・5%、約460万円。旅客業では15・3%、約80万円。また、ざぶくん館利用券は26・5%、約240万円となっている。

町は周知への対策は考えているか。

町長 無症状者のPCR検査は、国においては対象を65歳以上の高齢者または、基礎疾患を有する者として、かかる検査費用の助成を開始した。本町は、基礎疾患を有する障害者手帳3級以上を有する人を対象に事業を開始する予定である。7月4日、全国町村会の行政部長が厚労省の事務次官に、また12月2日の全国



有効活用されたか ハッピーチケットとざぶくん館利用券

町村大会では副会長から同事務次官にPCR検査の抜本的増加を要望している。

また、11月末現在の減免金額は、国民健康保険税と介護保険料の合計で2860万700円、減免者は27件、11人となっている。後期高齢者医療保険料では減免申請の提出はない。

就学援助の引き上げを

問 就学援助を生活保護基準の1・5倍に引き上げるのか。児童扶養手当打ち切り後、20歳までの支援は。

町長 就学援助は1・3倍未満に引き上げる。町の育英資金制度や、ひとり親に対しては県の母子・父子・寡婦福祉資金貸付金制度の周知を図りたい。

田中智之議員の
視点

発電所建設 地元業者の参入を

町長 正式公表後
しっかり協議



問 世界最大級の発電力を予定したバイオマス発電所建設計画が新聞発表された。2023年中に着工、26年度の運転開始を目指す。建設予定地は長年ゴルフ場として目的外使用されており、歴代の町長、特に渡邊前町長は「国策と相まった中で企業誘導策」を目指し尽力した。それが今回「温室効果ガス排出実質ゼロ」という菅総理の政策と合致し計画が発表されたの

は、感慨深い。今後、工場建設や周辺整備事業が期待される。地元企業にとっては大きなビジネスチャンスだ。そのチャンスをつかむためには、本町が積極的に事業主の企業と信頼関係を築くことが大切だ。まさに町長のトップセールスマンとしての腕の見せどころだが、どう考える。

町長 環境アセスメントの完了見通しが令和5年ごろとまだ先の感があり、

また、事業の共同化も検討課題だ。その内容次第によっては進め方も大きく変わる可能性もある。発電所建設の正式公表の時期も見極めながら、地元企業の参入についてはしっかり協議させていた

可能性が言われる。乳児は相手の「動く」表情を見て脳や感情を理解し共感する心を発達させるが、マスクは顔を隠す。表情から情報を得、言葉の発音・発し方を口の動きからも覚える3歳未満児への影響は計り知れない。こども園職員はフェイスシールド着用が良いのでは。また全国には透明マスクを着用することも園もあるが、どう考える。

問 この事業への投資は1千億円と言われる。つまり1千億円の仕事が発生する。地元企業や地域の発展には情報と政治力が必要だ。イーレックス株式会社、エネオス株式会社、知事や国会議員にどう働きかける。

教育長 マスクにより元が隠れ、言語の発達や情緒の安定への懸念も考えられる。保育場面に応じてフェイスシールドを活用するよう促しているが、プラスチック部分でのけがは心配だ。透明マスクに関しては情報収集をしつつ、導入検討中。

町長 共同事業化という新たな方式が出されたので少し相手方の形を待たなければならぬ。今後の具体的な話し合いの段階で意見交換も出てくる。

マスクが乳幼児に与える悪影響は

問 感染症対策としてマスク着用が当たり前になったが、乳幼児の脳と心の発達に悪影響を与える

電力の町

青木 順議員の
視点



電力の町 今後どう生かす

町長 大きなアピールポイント
にしたい

問 大型バイオマス発電所の事業化について、具体的な内容が決まったようである。投資額もおよそ1千億円とされ、税収増の他に地元商工業の発展や、雇用においても大いに期待できる。

町民にとっては電気代が安くなったり、町が全町にWi-Fiを整備して、観光、防災、減災などの住民サービスの向上にも取り組めるのではないかと。

また、電力の小売り全面自由化が始まっている。電気料が安くなるとは限らないが、新電力に切り替える考えはなかったか。また、今後のまちづくりにおいて、前町長の時代から話はあったが、商業施設、専門店などの誘致はできないか。

町長 エネルギー関連の土地活用が現実味を帯び、新潟東港の振興に大きく寄与するものと期待している。税収の増加により、安定的な財政運営が可能となり、多面にわたり本

町のまちづくりにつなげていく考えだ。新電力については、供給先を比較検討し、安くなる可能性があるということまで協議した経緯がある。しかし、これまで東北電力と共同し、進めてきたことから、現状で継続が良いと考える。

商業施設の誘致については、事業者からの打診があれば、前向きに検討し、今後も情報収集に努めたい。

どう食い止める 児童虐待

問 県警が認知した児童虐待の摘発数が2000年以降最多となった。

データを調べると、増え続けている内容である。抜本的な解決策はないかと常に思う。平成29年には全国で65人もの子どもが虐待によって命を落とすというつらいデータもある。1本の電話が、子どもやその家庭を救える



気付いてあげられるのはあなたかもしれない

ことがあろうと思う。児童虐待に対し、どう考えているか。

教育長 本町における児童虐待相談件数は、2019年度では31件で、ここ数年は横ばいである。今年度10月時点での相談件数は19件で、重篤なケースはない。なお、町の子ども家庭相談センターでは、聖籠町要保護児童管理台帳に登録されている35世帯、63人に対し継続支援を行っている。

虐待が問題視されたとき「これはしつけど」という方が多かった。しかし、もうその感覚がおかしい。しつけどではなく、暴力、犯罪である。その感覚を我々はしっかりと持つ必要がある。そうでなければ子どもの命は救えないと思っている。

タブレット学習 充実を確認

総務文教

11月9日、閉会中調査で蓮野小学校を訪問し、タブレット授業と本年度改修した体育館のつり天井撤去、トイレの改修工事を視察しました。

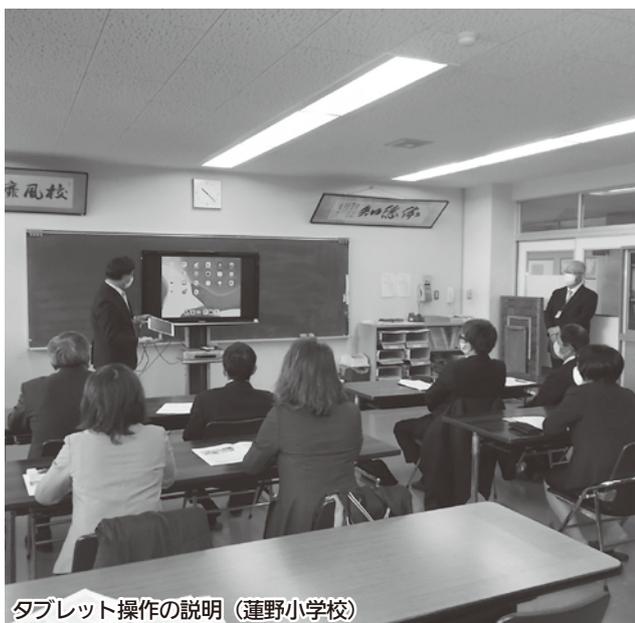
タブレット授業は、全生徒がタブレットを当たり前のように学習に活用していました。先生方も大型モニターに生徒のタブレットの画像を映しながら説明し、個々の生徒に対しきめ細かな指導をしていました。

トイレ改修工事では、

床が乾式化され、壁も明るい色になり、衛生的な洋式便器になっていました。つり天井が撤去された体育館についても、淡いピンク色の断熱材仕上げの安全な天井を、委員全員で確認しました。

コロナ禍での教育環境のハード、ソフト面の充実が見られ、今後の学習面の充実が期待できそうです。

(文責 小川勝也)



タブレット操作の説明 (蓮野小学校)

話し合った レポート

所管の議案を 調査・審査

厚生産業



請願の現地調査

12月8日、一般会計補正予算、請願等を含む議案について調査しました。

議案のうち、一般会計補正予算では、新型コロナウイルス感染症予防対策の一環として一部の人を対象に、PCR等検査の費用を一部助成するとの話がありました。

請願については「蓮濁こども園までの歩道及び横断歩道整備について」が、本委員会に付託されました。本委員会では、今後蓮濁こども園のバス

での送迎廃止に伴い、子どもたちの安全確保が必要な観点から、請願の趣旨を認め、全会一致で採択しました。

また、請願の現地調査の際、今後蓮濁こども園のバス送迎が廃止され、自家用車で送迎になったときの、園周辺の道路確保について話題提供がありました。今後の動向を見ながら、状況によっては対応策が必要でないかと議論しました。

(文責 高松守雄)

初の視察対応と 新型コロナ対策

広報広聴

今年度蓮野小6年生が修学旅行で訪れた福島県北塩原村。11月26日、その北塩原村議会広報調査特別委員会の方々が、視察のため来町されました。意見交換の場ではさまざまな角度から質問をいただき、視察を通じて改めて本町の広報誌を再考する良い機会を得たと感じています。改選後初となる視察対応。いただいた意見は今後の広報誌づくりに生かしていきたいと思えます。



役場での視察対応（北塩原村）

12月2日開催の広報委員会では、委員会内でも新型コロナウイルス感染症対策をすべきではないかと委員から提案がありました。全員で検討し、最終チェックにあたる第4回委員会のみ人数を絞り、開催する形となりました。初の試みとなりますが、感染症対策を講じつつ、文章校正に妥協はせず、本委員会ですることの一つ一つ取り組んでいきます。

（文責 宮沢さやか）

見て聞いて 委員会

町民との意見交換会 を中止

議会運営

11月12日、25日に議会運営委員会を開催しました。議題は、町民との意見交換会、第5次聖籠町総合計画特別委員会設置に伴う議会基本条例の一部改正、町民との意見交換会中止の場合の広報掲載（案）、新型コロナウイルスに伴う決議（案）について議論しました。その後、全員協議会において、町民との意見交換会の中止を決定いたしました。



閉会中の調査

聖籠町議会主催
令和2年度「町民との意見交換会」を中止
昨年度に続き、令和2年度「町民との意見交換会」を計画し準備を進めていました。しかし、全国的に、また新潟県内でも、新型コロナウイルスの感染者が増加しており、今年度の開催は中止となりました。町議会に対するご意見やご提言がございましたら、議会事務局までお寄せください。

（文責 中村恵美子）

ようこそ 聖籠へ!

～ Welcome to Seiro ～

「ようこそ聖籠へ!」では、他市町村出身で、
現在聖籠町にお住まいのご家族にインタビューをします。



なかむら めぐみ
中村 恵美さん
(二本松)



家族みんなで、明るく楽しく♪

今回は二本松集落の中村さんです。

Q 家族構成を教えてください。
私たちが夫婦と、男の子2人と女の子3人の7人家族です。

Q 出身地と聖籠町在住年数は?
主人は北区松浜で、私は西蒲区です。聖籠に住んで9年になります。



Q 聖籠町に住むことになったきっかけは?
聖籠町に住んでいるお友達から、子育て支援があつて子どもを育てるには良いところだよと教えてもらったのがきっかけです。

Q 聖籠町の良いところを教えてください♪
おいしい果物や野菜が近くにたくさんあつて、周りに住んでいる方もとても優しく、とても住みやすい町です。

Q どんな町になってほしいですか?
子どもが安心して遊べる、亀塚児童館のような施設が近くにもあるといいです。

Q 中村家の夢を教えてください。
家族みんなで、明るく楽しくこれからも過ごしていきたいです。

お知らせ

～ information ～

議会トップページはこちら



次回の定例会は、3月9日(火)開催予定です。

- ①FM 放送
エフエムしばた 76.9MHz
- ②インターネットサイマルラジオ
右のQRコードから聴くことができます。

本会議を聴くことができます



★表紙の写真★

「だんご木に願いを込めて」
(亀代こども園)

無病息災を願い4歳児が色鮮やかに飾り付けている様子です。真剣な顔が印象的です。
(撮影 伊藤千穂)

編集後記

議員になって2年目。6回の定例会を経験しました。やっと1年間の流れがわかってきたかな、という感じです。

特に今年度は新型コロナウイルス感染症に振り回された1年でした。影響を大きく受けたところへの補償など、度重なる補正予算、非常事態なのだということを改めて感じさせられました。

さまざまな場面で、どうすれば感染症対策ができるかを考えなくてはならず、これまでの当たり前が通用しなくなってきました。改めて物事の本質を考えるきっかけになりました。

新しい年が始まりました。今年度は感染防止のため、中止になってしまったイベントや行事が1つでも多く開催できるよう願っています。

広報広聴常任委員会
委員 高崎美由貴

発行責任者

議長 五十嵐利栄

広報広聴常任委員会

- 委員長 宮沢さやか
- 副委員長 伊藤 千穂
- 委員 中村恵美子
- 田中 智之
- 青木 順
- 高崎美由貴

発行 新潟県聖籠町議会
編集 広報広聴常任委員会